

2020年度事業計画（案）

1 事業概要

1.1 事業方針

デジタルトランスフォーメーションをはじめ、5G、AI、IoTなど新たな価値創造を可能とする技術は一層深化をし続けています。さらに高度なIT人材の育成及び確保が急務であり、大きな経営課題となっています。また、新型コロナウイルスの影響や温暖化による異常気象の急増など、地球規模の大きな課題が起きています。世界情勢は著しく変化しており、その大きな影響を地方都市は受けやすい状況にあります。このような時であるからこそ、私たち地方の業界団体は、共に手を携え協力し合いこの大きな課題に向けて取り組んでいかなければなりません。当協会において共に事業活動を進めていくことの必要性が一層高まって来たといえるのではないのでしょうか。

当協会では、引き続き「HIAビジョンと戦略」に基づき、会員企業の成長と高収益化、イノベーションの牽引、広島県の産業振興に寄与することに注力し、会員企業のメリットとなる活動を積極的に取り組んで参ります。

本年11月には「情報化シンポジウム広島'20」の開催を予定しております。有識者による講演会・セミナーを通じて、IT分野の最先端の技術やトレンドを広くお伝えすることにより、IT需要の創出とともに地域の経済活性化に寄与いたします。

また、協会活動の基本単位は委員会・部会活動です。会員の皆様の参画あってこそその活動となります。新たな潮流やビジネスチャンスのキャッチアップを行う活動を積極的に実施いたします。そして互いのビジネスに繋がるための交流や商談の機会についても取り組んでいく考えです。皆様の積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

<HIAビジョンと戦略>

(1) ビジョン

- ・ 会員企業の成長と高収益化を実現する
- ・ ITを中核技術として産業・生活におけるイノベーションを牽引する
- ・ グローバル化する成長市場への対応を通じ、情報通信産業の健全な発展と広島県の産業振興に寄与する

(2) 戦略

- ・ 新たなIT潮流のキャッチアップ
- ・ アジア圏を主としたグローバル化への対応
- ・ 地域IT需要の創出
- ・ 高付加価値な事業転換への対応
- ・ 情報技術・経営力の強化に資する人材育成

1. 2 重点事業

(1) 「情報化シンポジウム広島'20」の開催

11月に、隔年で実施している「情報化シンポジウム広島'20」を本年度も開催いたします。有識者による講演会・セミナーを通じて、IT分野の最先端の技術やトレンドを広くお伝えすることにより、広島地域の経済活性化に寄与したいと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(2) 新たなビジネスチャンスへの対応

経営委員会において、広島県、広島市、中国経済産業局や各企業団体からの情報提供や新たなビジネスモデルの構築に参加できる人材の育成を目的としたセミナー等の開催を企画し、ICT企業経営者を支援します。

(3) 先端的IT技術のフォローアップ

技術委員会及びHiBiS特別委員会において、IoT、AI、情報セキュリティの技術動向の研究に加え、5G、RPAなどさらなる新たな潮流となるIT技術の研究を進めて参ります。

(4) 優秀なIT人材確保のための支援

人材開発委員会において、高度なIT人材やイノベーション人材の育成と、経営者セミナーの開催に加え、会員企業の深刻なIT人材の確保のための支援活動を進めて参ります。

(5) 会員企業とユーザ企業・行政・教育機関との交流強化

様々な業界のITを活用されるユーザ企業、行政ならびに各種団体、大学や専門学校などの教育機関など多くの皆様との積極的な交流の機会を提供します。交流を通じて新たなビジネスの拡大に繋がります。

(6) グローバル化への対応

劇的に変化し続けている国際情勢の中で、国外における最新のIT技術レベルやIT技術活用の状況をキャッチアップし会員企業の国際的な対応を支援するための企画に取り組みます。

(7) 会員同士の交流と会員増強

会員同士の交流を深める活動と同時に、広報活動を通じて会員数を増強し、広島県下のIT企業の組織化率の向上（会員の増強）に取り組みます。

2 事業計画

2.1 会議の開催

重要議案審議のため、つぎのとおり会議を開催します。

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| (1) 通常総会 | 年1回 | 5月 |
| (2) 臨時総会 | 必要に応じて | 随時 |
| (3) 理事会 | 原則として、毎月第2火曜日 | (8月, 2月は休会) |
| (4) 三役会議 | 必要に応じて | 随時 |
| (5) 各委員会 | 必要に応じて | 随時 |
| (6) 各部会 | 必要に応じて | 随時 |

2.2 委員会活動

経営委員会

1 事業方針

これまでのビジネスや事業モデルに先が見え始め、デジタルをキーワードにビジネスモデルのチェンジを求めるデジタルトランスフォーメーション(DX)の声も高まってきた中、ICT企業への期待は、ますます高まるばかりです。

ITの役割が変化する中で、広島県、広島市、中国経済産業局や各企業団体からの情報提供や新たなビジネスモデルの構築に参加できる人材の育成を目的としたセミナー等の開催を企画し、ICT企業経営者を支援します。

2 事業計画

(1) 定期委員会の開催

- ・会員の経営者間で情報交換・協議を行います。
- ・活動計画を協議し実施します。

(2) セミナーの実施

- ・経営者やリーダーに、ビジネスの各場面で期待される「問題解決力」について、実際に発生した事象をもとに、ケーススタディを中心としたセミナーを開催します。

(3) 情報提供の実施

- ・広島県、広島市、中国経済産業局や各企業団体からのセミナー情報や最新情報などを会員企業に情報発信します。

技術委員会

1 事業方針

会員がAI, IoT等の最先端の知識や実装技術を習得することを目的としたセミナー等の開催及び委員会参加企業の経営に資する見学会等を実施します。

また、セミナー等の企画立案を中心に毎月委員会を開催し、メンバー同士の意見交換を行います。今年度開催予定の「情報化シンポジウム'20」に向けては最先端

の I T 関連情報などをテーマとした講演，セミナー等の開催を企画します。

I o T 研究部会においては，現実的な I o T 導入を見据えた課題解決型セミナーを企画します。また，実際に I o T を取り入れている企業の見学も企画します。

さらに，より I o T の実態に則した知識・技術の習得のための講習会を前年に引き続き開催企画します。

2 事業計画

(1) 定例委員会の開催

- ① 最新技術情報の交換を行います。
- ② 協会が主催する各種行事への対応を協議し遂行します。
- ③ 活動計画を協議し実行します。

(2) セミナーの開催

- ① 年 4 回開催予定のセミナーで会員に役立つ情報を提供します。
テーマとしては，I o T，A I，ビッグデータ，ロボティクス等の先端技術を中心に企画します。また，ハンズオン形式によるボードコンピュータとカメラや人感・温度センサー，さらには機械学習技術を用いた画像認識技術を使って，監視 I o T デバイスを作成するセミナーを企画します。
- ② 委員会メンバーが相互に技術情報を提供するミニセミナーを開催します。
- ③ 委員会参加メンバーの経営に資する見学会を企画し実施します。

(3) 「情報化シンポジウム' 20」

- ① 「情報化シンポジウム' 20」の開催に向け，講演，セミナー等のテーマならびに講師の選定を行います。
- ② 講演，セミナーの実施に向け会場準備，機材調整などの諸準備ならびに当日の運営を行います。

(4) I o T 研究部会

- ① より実践的な I o T 導入に関する講演会及び I o T 課題解決型セミナーを開催します。
- ③ 現場の I o T である計測制御に則した講習会を開催します。

人材開発委員会

1 事業方針

- (1) 高収益型事業構造を実現するための人材育成に取り組めます。
- (2) 地方の労働力不足が深刻化する中，働き方改革，人材採用・活用など直近の課題への対応を行います。
- (3) 地域の産業振興のために，地域ユーザ企業の I T イノベーションの具体化に資

するICT人材の育成に取り組めます。

2 事業計画

(1) 人材育成と教育機関との連携

高付加価値事業領域への転換並びに情報技術、経営力強化に資する人材教育を推進します。また、県内の大学・専門学校、IT人材教育機関と連携し、情報交換を行うとともに、タブロイド紙の発行を継続し、採用活動の活性化を図ります。

(2) セミナーの実施

労働人口の減少や首都圏への流出に伴い、会員企業の人材活用はますます難しい時代になっています。定年延長やダイバシティなど雇用形態の多様化や、ハローワークシステムの改革など雇用を取巻く最新動向についてセミナーを開催します。

また、働き方改革関連法の進展に伴い、労働時間や休暇取得への対応や、テレワークなど環境整備への対応などに関しても情報提供して参ります。

(3) 人材戦略に資する情報提供

デジタルトランスフォーメーション時代の人材戦略は、企業の事業戦略に基づいて柔軟かつダイナミックな運用が求められます。

昨年度ワークショップ体験会において紹介した事業戦略とスキル管理を一体化したiコンピテンシーディクショナリ普及に向けた意見交換会を開催します。

HiBiS特別委員会

1 事業方針

HiBiSのミッションである「広島におけるインターネットを活用したビジネスの活性化」を実現するため、IT企業のみに限らずIT業界以外の組織や個人の方が参加できる機会を増やし、さらに各々の部会に顧問を設置することにより、産学連携を強化することを大きな方針とし、これまでの各大学との連携をさらに強化して、若年層の技術者や起業家の発掘に努めます。

まず、毎年開催している「HiBiSインターネットビジネスフォーラム」を引き続き開催する他、各部会からテーマを持ち寄り、「IT勉強会（オープンセミナー）」の開催を定期的に企画して行きます。これまでに実績のある一般社団法人テレコムサービス協会との共催イベントを継続し、さらに独立行政法人情報処理推進機構（IPA）及び公益財団法人広島市産業振興センターとの連携を深めて行きます。

また、インターネット・セキュリティの分野においては、情報セキュリティに関する技術的要件を中心に、最新動向と問題点等を調査・研究し、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）と連携して「セキュリティ・ミニキャンプ」及び「SECCON」を開催します。さらに、インターネットビジネスを展開する上で、ユーザ・インターフェイスを考慮したデザインの重要性が増してきていることから、UI/UX研究部会を中心

として新たな資格制度へも取り組みます。

本年度は、2年に一度、「情報化シンポジウム広島'20」が開催される年度であり、テーマや主旨に沿ったセミナーを企画・実施する予定です。毎年開催しています「HiBiSインターネットビジネスフォーラム」も、この「情報化シンポジウム広島'20」のイベントとして開催することで集客や周知の相乗効果を狙います。

以上のように今年度もHiBiSは広島発のインターネットビジネスやベンチャー企業の発掘を行うことで、業界および地域社会の情報化・高度化に取り組んでいきたいと考えております。

2 事業計画

(1) 4つの部会活動

- ① AI・IoT研究部会
- ② ビジネスモデル研究部会
- ③ インターネットセキュリティ部会
- ④ UI/UX研究部会

(2) IT勉強会（オープンセミナー）

HiBiS内外及びメンバーの部会を超えた情報交換、親交を深める場として、IT勉強会（オープンセミナー）を開催します。ゲストスピーカーには、インターネットビジネスで活躍中の企業をお呼びし、ビジネスアライアンスの場を提供していくことで、HiBiSの活動を知って頂き、同時にHiBiSへの新規入会を促します。さらに、産学連携の一環として、学校関係者（先生、学生）の参加を積極的に進めていきます。

(3) HiBiSインターネットビジネスフォーラム（第24回）

インターネットビジネスに取り組まれている企業からビジネス事例を発表していただく企画です。企業の部として、HiBiSのメンバーか否かを問わず、自薦他薦形式で、中国エリアの企業もしくは当エリアで事業を展開する企業のビジネス事例を募ります。また、学生の部として、起業家を目指す学生、ビジネスモデルを研究している学生等からのビジネス事例を募集します。キャンパス枠（大学、専門学校等）は、今回で8回目を数えますが、広島県内の多くの学校から応募があり、未来を担う人材のサポートの場として定着してきました。応募頂いた全ての発表原稿は、小冊子にまとめ11月（予定）のフォーラム当日に配布するとともに、事前審査により選定した優秀ビジネス事例をフォーラムにて発表していただきます。（企業の部、学生の部）

さらに、その中から選出された企業の部、学生の部のそれぞれの優秀作品については、一般社団法人テレコムサービス協会主催の全国大会「ICTビジネスモデル発見&発表会」への出場権が与えられる予定です。

(4) セキュリティ・ミニキャンプ in 中国 2020（広島）

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）および、セキュリティ・キャンプ実施協議会では、次代を担う日本発で世界に通用する若年層の情報セキュリティ人材を発

掘・育成するため、産業界、教育界を結集した講師によるセキュリティ・キャンプを実施し、それを全国的に普及、拡大していく取り組みを進めています。

H i B i Sではこの取り組みと連携して、一昨年に引き続き、「セキュリティ・ミニキャンプ in 中国2020（広島）」を開催します。

(5) SECCON B e g i n n e r s 2 0 2 0

SECCON実行委員会では、インターネットの利用が広がる中、さまざまなサイバー犯罪も増えてきており、その中でセキュリティ技術を学びながら、同時に倫理観についても学ぶことができるSECCON B e g i n n e r s 2 0 2 0を開催しています。

しかしながら、特に地方の学生などは情報セキュリティやCTFに興味を持っていながらも、勉強会などで直接学ぶ機会が少なく、交流の場も著しく少ないのが現状です。そこで、H i B i Sは、この取り組みと連携して、学生や社会人の方々が正しい倫理観を持って情報セキュリティを学ぶためのSECCON B e g i n n e r s 2 0 2 0を開催します。

(6) インターネットによる情報提供

- ・ Webサイトを活用してH i B i Sの活動状況を周知します。
- ・ SNSを活用した情報提供を積極的に行います。

総務委員会

1 事業方針

事業計画と予算の立案・執行の本部機能を発揮し、各委員会の活動を側面より支援していきます。具体的には事業計画および予算・決算の取り纏め、各種会議の取り纏め、行政・外部団体とのパイプ役、さらに各委員会に属さない業務も含め幅広い業務を事務局と連携して行います。

また、総務部長会では引き続き会員企業の労働環境向上を目指して、専門家を招いての勉強会や、企業見学等を実施します。

交流部会では会員の情報提供・情報交換を目的として、通常総会等で記念講演会、懇親会を開催するとともに、会員相互の親睦を深めるため、例年開催しているゴルフコンペ等を企画します。

また、ビジネス交流会の開催など、会員以外の方々との情報交換・交流の場の提供に努めます。

海外視察部会では国際化に関する研究会、講演会の開催や海外視察の実施などの活動を行います。会員の求めるテーマ、海外視察の時期や訪問先をアンケート調査などにより探ります。

広報部会では協会の活動を内外に伝え、理解いただくと共に、協会を活性化するための広報活動を行っていきます。

また、本年度は11月開催の「情報化シンポジウム広島‘20」の講師の選定と集客に注力し各種広報活動を展開していきます。

2 事業計画

(1) 総務委員会

- 事業計画と予算の執行に関わる業務全般
- 総会・賀詞交歓会の開催

(2) 総務部長会

- 総務部長会の開催（年4回程度）

(3) 交流部会

- 記念講演会，懇親会の開催（総会，賀詞交歓会）
- 会員親睦行事の開催
- ビジネス交流会の開催（年2回程度）

(4) 海外交流部会

- 講演会，研究会，会員ニーズのアンケート調査実施
- 海外視察の実施，検討

(5) 広報部会

- 通常の広報活動
 - ・ 情産協ニュースの作成
 - ・ 情産協ホームページの運営
 - ・ 情産協SNSの運営
 - ・ 協会会員向けのメールでの情報提供
 - ・ 広報基盤の整備
- 「情報化シンポジウム広島‘20」向けの広報活動

企画委員会（IT総合展準備委員会）

1 事業方針

「ひろしまIT総合展2021」の来年度開催に向けた準備・企画検討を行います。行政機関や各種団体との連携（共催・後援等）を深め、最新のIT技術や製品・サービスを紹介することにより、地域産業の発展に寄与できるよう、イベントの成功に向けて取り組んでまいります。

2 事業計画

- (1) 準備委員会の組織編制
- (2) 準備委員会の開催
- (3) 行政機関，関連団体との連携協議
- (4) 開催企画書（案），収支予算（案）の作成
- (5) 出展検討のためのアンケート実施